

特定非営利活動法人 会員誌

ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail fureai_npo@gmail.com

⇒ホームページ

http://www.fureai-support.jp/



最終号
令和6年3月1日

- 法人事務所・アトリエ TEL 0244(36)5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244(32)0965
- デイサービス友遊(北町) TEL 0244(26)5424
- デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244(36)3582
- 中央児童センター(ポニークラブ) TEL 0244(35)2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわりクラブ) TEL 0244(37)8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだかクラブ) TEL 0244(35)3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんきクラブ) TEL 0244(32)1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはなクラブ) TEL 0244(26)9011
- 相馬こどものみんなの家 TEL 0244(35)4700

今年度も南飯淵・北町アトリエ教室で、幼稚園や学校が違うお友達ともすっかり顔馴染みになり、かけがえのない友達関係を作った人が少なくありません。それぞれ1年間のグループ学習を通して大きな成果をあげることができました。楽しかったね!!!
支えてくださいました保護者の皆様はじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

おたのしみ会のお知らせ

毎回の教室が、おたのしみ…の教室でしたが、3学期の最終勉強日を今年度最後の思い出づくり・おたのしみ会とします。(水曜日13日・金曜日8日)
コロナ前までは、子ども達の親睦を深める意味で、3月の最終勉強日は、それぞれの家庭でプレゼントを用意していただき、交換を行っていましたが、昨年に続き今年度も、北町の渡辺良行さんよりぬいぐるみ・新田の高橋トミ子さんからコマの提供がありましたので、それに加え相馬絵画研究所からも提供頂いたものを、当アトリエでプレゼントとして用意し、これを交換します。お休みしないでね。リーダー・スタッフも楽しみ…に準備しています!
当日、このプレゼントと一緒に、皆さんからのメッセージを添えて交換したいと思いますので、当日忘れないでご持参ください。



チベット巡礼作品展のご案内

旅する画家 倉本信之

チベット巡礼作品展

○日時 3月11日(月)~20日(祝水)
10時~15時

○会場 正西寺 門徒会館広間

※詳しくは別紙ご覧ください。

☆☆☆ 次年度への継続入室について ☆☆☆

今回の修了展で今年度の修了、1年の締め括りとなります。次年度は令和6年度、創立より59周年になります。
長い間、保護者の皆様はじめ多くの方々からご支援いただきましたことに感謝申し上げます。

アトリエでは、1966年創立以来、毎回の創作活動に加えて、野外活動・自然体験活動・生活体験活動等の様々な体験学習をする場を提供して豊かな心の育成に努めてきました。644回行った体験活動も原発事故の影響ですべて中止していましたが、その後「通学合宿」「サマー合宿」「田植え体験」食育のすすめ「靴・味噌作り」を再開することができました。

しかし、ここ3年はコロナ禍の中で思うように活動は出来ませんでした。
今年度も限られた中でも子ども達に感動体験の場を作ることができました。

子ども達が大人になった時に素晴らしい活躍ができますよう、保護者の皆様と共に

お子様の精神的・身体的能力を引き出すためのアプローチをこれからも続けていきたいと思っております。

令和6年度のお勉強は、4月から新しいお友達・会員のみなさんに加え、新たにスタートいたします。

毎年、退室される方がごく一部なので、継続入室の方は自動的にこちらの方で手続きをいたします。

また、何らかの理由で退室される方は、**3月13日(水)まで**に担当の者に直接、またはお電話にてご連絡ください。

※13日以降に退室のご連絡をいただいた場合、自動振替処理の関係で4月分会費が発生しますのでその後の返金処理は出来なくなりますのでご了承ください。

令和6年度 かがぞうけいきょうしつ 会員募集!!

おともだち

をご紹介します。



令和6年度のかがぞうけいきょうしつお勉強は4月から始めます。

また、かがぞうけいきょうしつの成果をご覧いただくため

修了制作展「こどものえてらんかい」のご案内をいたします。

新たに入会希望の方をご存知でしたらご紹介をお願いします。

別紙(クリーム色)のご案内をお渡しいただきお誘いください。

アトリエでは

グループ学習を通して仲間づくりをしながら「思いやりの心」を

育み、創作活動の中で自己表現する楽しさを知り

「やる気・やりぬく心」を培って自ら考える力を持った「意欲的な子」

へと成長する場の提供をしています。

1年間を振り返って…アラカルト

今年度も1年間楽しいかがぞうけいきょうしつの間があつという間に過ぎました。
担当スタッフより皆様にメッセージを贈ります。

子ども達の成長

スタッフ 水野友美子

年明け、みどり幼稚園に迎えに行き、車に乗って「明けましておめでとう」と新年の挨拶をしたところ、「今年もよろしくお祈りします」と、子ども達から元気な声での返事。しっかりとした子ども達の挨拶に、3学期をとってもいい気持ちでスタートすることができました。

子ども達は、あそびや自然の中での活動、人との触れ合いなど様々な体験を通して、日々成長しています。絵の教室の子ども達も、入室時に比べると、たくましく成長している様子が見えがええます。

時には自分の思い通りにならない制作活動や、お友だちとのコミュニケーションの取り方に悩んで、涙がでてくることも。また、「弟や妹がいるから、がまん、がまん」「小学生になるから、しっかりしなくては」と、小さいながらも自分に言い聞かせ、毎日頑張っている様子。でもまだまだ成長途中、手をつないだり、ひざに乗ったりおんぶしたり・・・甘えたい気持ちもいっぱいの子も達です。

そんな子ども達の気持ちを受け止め、これからもアトリエが子ども達にとって、温もりを感じほっとできるあったかい居場所になるよう、心がけていきたいです。それによって心が満たされ、安心できる環境であれば、意欲がわき、行動力も出てよりいっそう楽しい活動ができることと思います。

幼い子ほど一年の成長は大きいです。



おやつ作り…（手作りの味・旬の味・伝統の味）

絵画教室に、子ども3人、孫7人、ひ孫2人が在籍して58年間。親心で、安心して安全、旬の手作りの味、伝統の味を提供し続けてきました。今年も一年間、おやつ作りを岩崎友里恵先生に担当していただきました。ありがとうございました。美味しかったね♡

貴重な時間

スタッフ 岩崎百合恵

「友遊」に勤めて約八年になります。初めは、デイサービス勤務。産休、育休をあけてからは、育児と仕事の両立が難しく、現在は、絵画教室のお菓子作りの担当と訪問介護の仕事をしています。幼稚園児から百歳のおばあちゃんまで幅広い年代の方と触れ合う機会があり、とても贅沢な時間を過ごしているなあ～と感じます。私が子供だった頃には、感じなかったことや考えが今の子ども達には、しっかりあって関心します。素直に受け止め考えていく姿は、大人になっても忘れてはいけないなあ～と感じさせてくれます。

最近では子供達の方から「今日は何のおやつ・・・？」と質問してくれるようになりました。「今日は何ケーキだか当ててみてー」「〇〇かなあ？」「〇〇じゃない？」真剣に悩み、食に向き合っている子供達。最初は苦手で食べなかった物も「おいしかった！また作って！」の言葉に変わり、子供達の変化に感動します。

子ども達の笑顔、大先輩方の優しい眼差しを見て、一息つきながら大切な時間を大事にしていきたいと思います。



あれから13年・・・

スタッフ 倉本まり子

相馬絵画研究所で、美大時代からアシスタント、卒業してスタッフとなり、半世紀以上も経ちました。その間、4世代同居の大家族8人の中で、仕事、育児、家事で大変な事もたくさんありました。そんな中でも今でも心に強く残っていることがあります。

それは、2011年の東日本大震災後の翌年。当法人の総会で、私が一年間の活動報告をしている時の事です。震災前までは通算して644回、年間20回もの体験活動が、東日本大震災と原発事故による放射能漏出により、体験活動が全て中止せざるをえなくなりました。そして、入所していた教室生は勿論ですが、我が子3人も体験活動の中で育てられ、上3人の孫達も様々な活動に参加して、成長していく姿を見てきました。それだけに、思いもよらなかったこの災害に、下の4人の孫達や教室生を思い浮かべ、先の見えない状況に体験活動ができない無念さで想いがあふれてしまったのです。人前なのも報告なのも忘れたわけではないのに、突然涙がとめどもなく流れ報告にならなかったのです。

体験活動の意義と必要性を、制約された状況下の中で、何をどう提供できるかと悶々と考えながら、大震災から5年が過ぎ、まずは、室内での活動（糶・味噌造り、通学合宿）をなんとか再開しました。その翌年、孫の飯豊小への送迎時、田んぼを見て、震災前の田植えした記憶があったのか、「また、私も田植えをやりたい。」との声。早速新田の高橋さんをお願いし翌年再開できたのです。子ども達の小さな声が力となって後押しされ、実現していく喜びを感じました。

そして今年度は、なんと元教室生の高校生たちが、「元気クラブ」を立ち上げ、サマー合宿を自分達で自主運営。参加した小学生の子ども達の「またやりたい！」の声に、大変ながらも次年度に応えるべく調整中のようです。



体験活動の中で、自ら学び自ら考える力などの生きる力を獲得し成長した子ども達を目にしてワクワクします。次年度がまた楽しみ…